

# 鳳来山



13 鳳来寺 (ほらいじ) 新城ICより約14.3km

大宝3年(703)、利修仙人によって開かれた真言宗の由緒ある寺院(真言宗五智教団の大本山)です。薬師信仰と山岳修験道の霊山として古くから信仰を集め、江戸時代には徳川家康誕生ゆかりの地として幕府の厚い保護を受けました。当時は、21院坊、寺領1350石という盛大さを誇っていました。四季を通して楽しめる鳳来寺山ですが、特に秋の紅葉は見物で、毎年11月の鳳来寺山もみじまつりは、多くの観光客で賑わいます。

## 鳳来寺と利修仙人

利修仙人は、山城国に生まれ、現在の峰(鳳来地区)に移り住み、霊木7本杉の1本から鳳来寺本尊となる峯薬師如来をつくりました。その後、百済の国で仙術や仏教を学び、鳳凰に乗って帰国し鳳来寺山中に3匹の鬼を従えて住んでいたといわれています。文武天皇が病にかかったときには、鳳凰に乗って都に赴き、祈祷によって天皇のご病気を治したため、大宝3年(703)に天皇からお礼に寺を建てられ、その寺を鳳来寺と命名し鳳来寺が誕生したとされています。



## コノハズク (声の仏法僧)

このはすく(こえのぶつほうそう) 愛知県の鳥。鳳来寺山へも飛来する夏鳥で、鳴き声は「ブッポウソー」とかん高く、仏教の「仏・法・僧」とつながることから、霊鳥とされています。



13



14



13

## 14 鳳来山東照宮

慶安元年(1648)三代将軍徳川家光は、鳳来寺を家康誕生ゆかりの地として祖父報恩のため、東照宮の建築をはじめました。その後四代将軍家綱のときに完成し、現在は、国の重要文化財に指定されています。

新城ICより約14km



15

## 15 仁王門(鳳来寺山門)

鳳来寺山表参道の石段を登り、途中にある鳳来寺の山門。聖武天皇がご病気になったとき、光明皇后が鳳来寺に祈願されました。これにより病気が全快したお礼として「鳳来寺」の書をしたため、寺に寄進されたといわれています。現在は、門の上部にレプリカが掲げられています。

新城ICより約10.2km



16

## 16 傘杉

仁王門をくぐると、樹齢800年、樹高60mの杉が真っ直ぐにそびえ立っています。幹の上方で枝が四方に広がり、傘をさしたように見えることから傘杉と呼ばれています。また杉の樹高は日本で2番目の高さを誇り、「新日本名木百選」にも選ばれています。

新城ICより約10.4km



## 17 鳳来寺山自然科学博物館

鳳来寺山表参道に鳳来寺山を中心とした動物・植物・地質等の自然科学の拠点としての博物館があります。コノハズク(声の仏法僧)の鳴き声を聞くことができるコーナーなどもあり、人気の博物館です。

新城ICより約10km

# 四季



## 09 桜淵公園

桜と淵をもつ景勝地で、江戸の初期、新城城主が豊川沿いに桜を植えさせたのが始まりと言われています。春の桜、夏の緑、秋の紅葉は素晴らしく、年間を通して楽しむことができる自然豊かな公園です。毎年3月下旬から4月中旬まではさくらまつり、8月13日には納涼花火大会が開催されます。

新城ICより約6.8km

## 10 巴川の紅葉

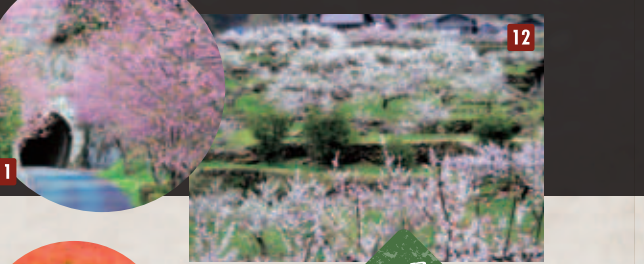
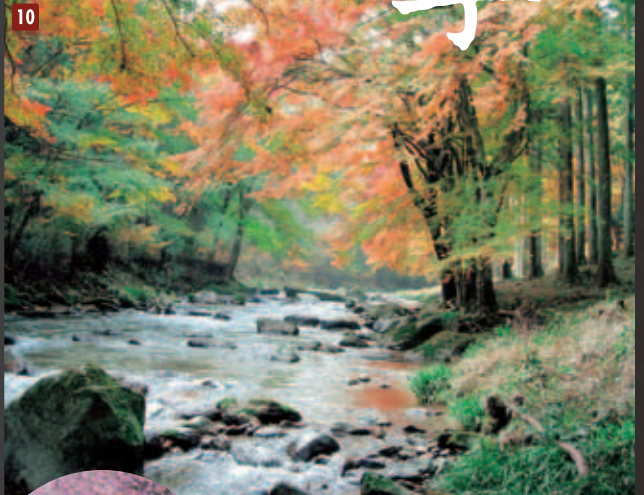
巴川周辺は、美しい紅や黄色に染まる紅葉のメッカ。清流と紅葉と秋空が万華鏡のように重なり合って息を呑む美しさです。

新城ICより約20.3km

## 11 河津桜のトンネル

昭和55年に旧鳳来町商工会と河津町商工会が姉妹提携を結びました。この河津桜は平成3年に河津町商工会青年部と地元住民と一緒に植樹したのが始まりで、3月下旬には美しい桜のトンネルが見られます。

新城ICより約5km



「三河の嵐山」とも呼ばれる桜の名所。桜淵公園や紅葉が美しい鳳来寺山をはじめ、市内各所で、梅、新緑、紅葉など、四季折々の景色が楽しめます。



市の花 ササユリ



市の木 ヤマザクラ



市のカエル モリアオガエル



彼岸花の群生 (市内各所)

## 12 川売の梅

設楽町に近い海老の川売地区の梅園は、およそ10戸の農家で南高をはじめとした7種類の品種約1500本を育てています。3月上旬から開花し、見頃は3月中旬から下旬です。映画「折り梅」のロケ地にもなりました。

新城ICより約16.5km

